

鯖江市地域公共交通活性化協議会 報告資料

一般社団法人 地域公共交通鯖江
2022年12月2日

報告項目

1. 利用実績について(4/1~11/30)
2. 令和4年7月からの新料金についての検証
3. 令和4年4月から令和4年11月までの分析
4. 総括と所感

1.利用実績について(令和4年4月1日～令和4年11月30日)

令和4年4月1日から令和4年11月30日の期間内での大きなアクション

- ・令和4年7月1日から利用料に河和田地区内定額制導入

利用実績

期間	令和4年4月1日	令和4年11月30日
利用登録者	43名	174名
ドライバー	9名	10名

- ・運行回数 163回 (11/30日現在)
- ・利用目的 通院(74回)・新型コロナワクチン接種の為の移動(12回)
郵便局(10回)・美容院(4回)・買い物(18回)・娯楽(32回)・その他(13回)
- ・河和田内運行 163回の内、118回(72.3%)

2. 令和4年7月からの新料金についての検証

河和田地区内(買い物ができる箇所は生活地区とします)について
片道の利用料金を **300円** 定額として設定したいと思います。

河和田地区内移動固定料金制を導入するにあたり下記の検討要素があります。

▶▶ メリット

- ・利用料金が安くなり河和田地区内での利用促進に繋がる
- ・利用料金が固定化される事により分かりやすくなり利用者拡大に繋がる期待アップ
- ・河和田地区内固定料金+つつじバスとの連動により鯖江市内における毛細血管的役割が果たせる

▶▶ デメリット+課題

- ・売上の減少
→既存利用者の利用頻度増と新たな利用層の獲得によるカバーを期待
- ・利用料金減少に伴いドライバー収益も減少する(利用料金の50%がドライバー収益)
→こちらにつきましては、ドライバーへの説明を行い、理解・承諾を頂いております

「河和田地区内料金定額制」のメリットについての検証

▷▷ メリット

① 利用料金が安くなり河和田地区内での利用促進に繋がる

→河和田地区内利用回数は4月～6月の平均利用回数6.3回に対して、7月～11月は平均利用回数19.8回で、月平均で13.5回の利用増です。

② 利用料金が固定化によって分かりやすくなり利用者拡大に繋がる期待アップ

→利用者は4月～6月の平均利用者数4人に対して、7月～11月は平均利用者数9.8人で、月平均で5.8人の利用者増です。

③ 河和田地区内固定料金+つつじバスとの連動により鯖江市内における毛細血管的役割が果たせる

→行先に「つつじバス停」は実績がない為、こちらの効果はまだ得られておりませんので引き続き利用イメージの周知活動が必要だと感じております。

「河和田地区内料金定額制」のデメリットについての検証

▶▶ デメリット

① 売上の減少

→既存利用者の利用頻度増と新たな利用層の獲得によるカバーを期待。

→既存利用者からの利用頻度は増えています。新たな利用層は会員数として獲得はできていますが、利用回数は満足するものには至っておりませんので引き続き利用案内をしていきます。

② 利用料金減少に伴いドライバー収益も減少する(利用料金の50%がドライバー収益)

→こちらにつきましては、ドライバーへの説明を行い、理解・承諾を頂いております。

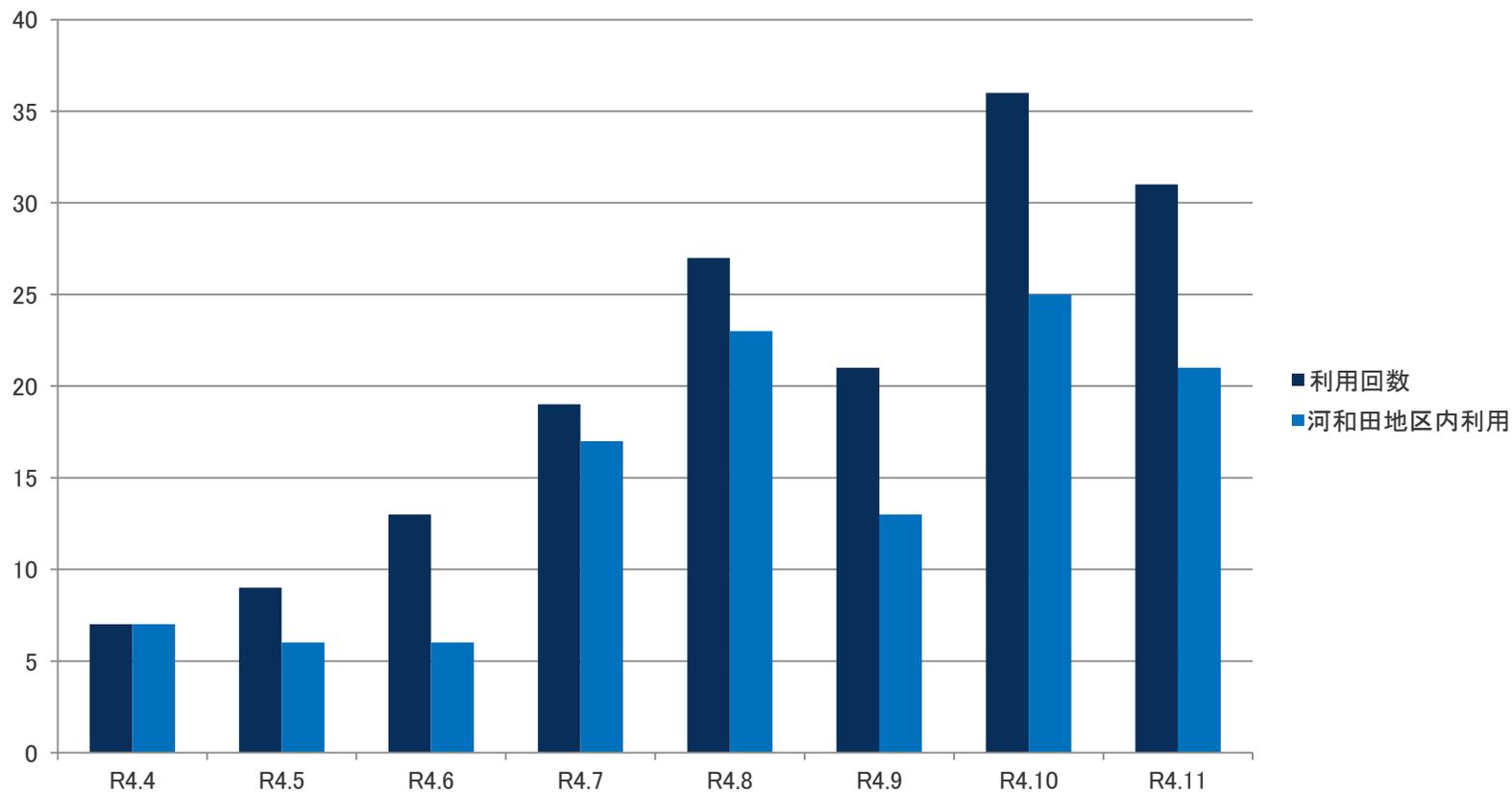
→既存ドライバーの方には十分な説明の上ご理解を得ていますが、今後利用が増え、ドライバーを募集してく際には、ドライバー収益という利点が減っているため人員確保において苦勞する要因になる可能性は否めません。

3. 令和4年4月から令和4年11月までの分析

3. 令和4年4月から令和4年11月までの分析

利用回数と河和田地区内の利用

単位(回)



2. 令和4年4月から令和4年11月までの分析

利用人数

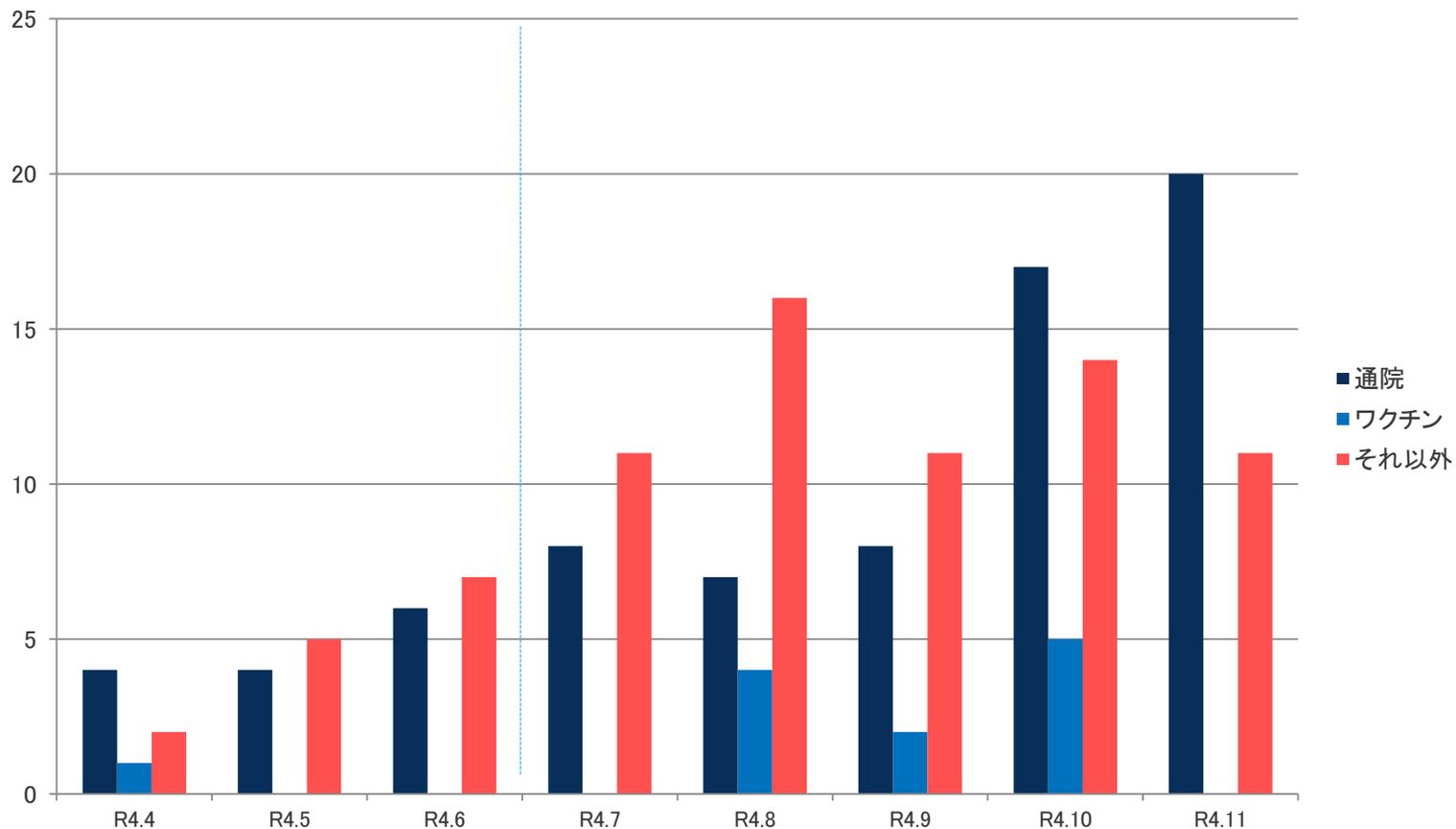


3. 令和4年4月から令和4年11月までの分析

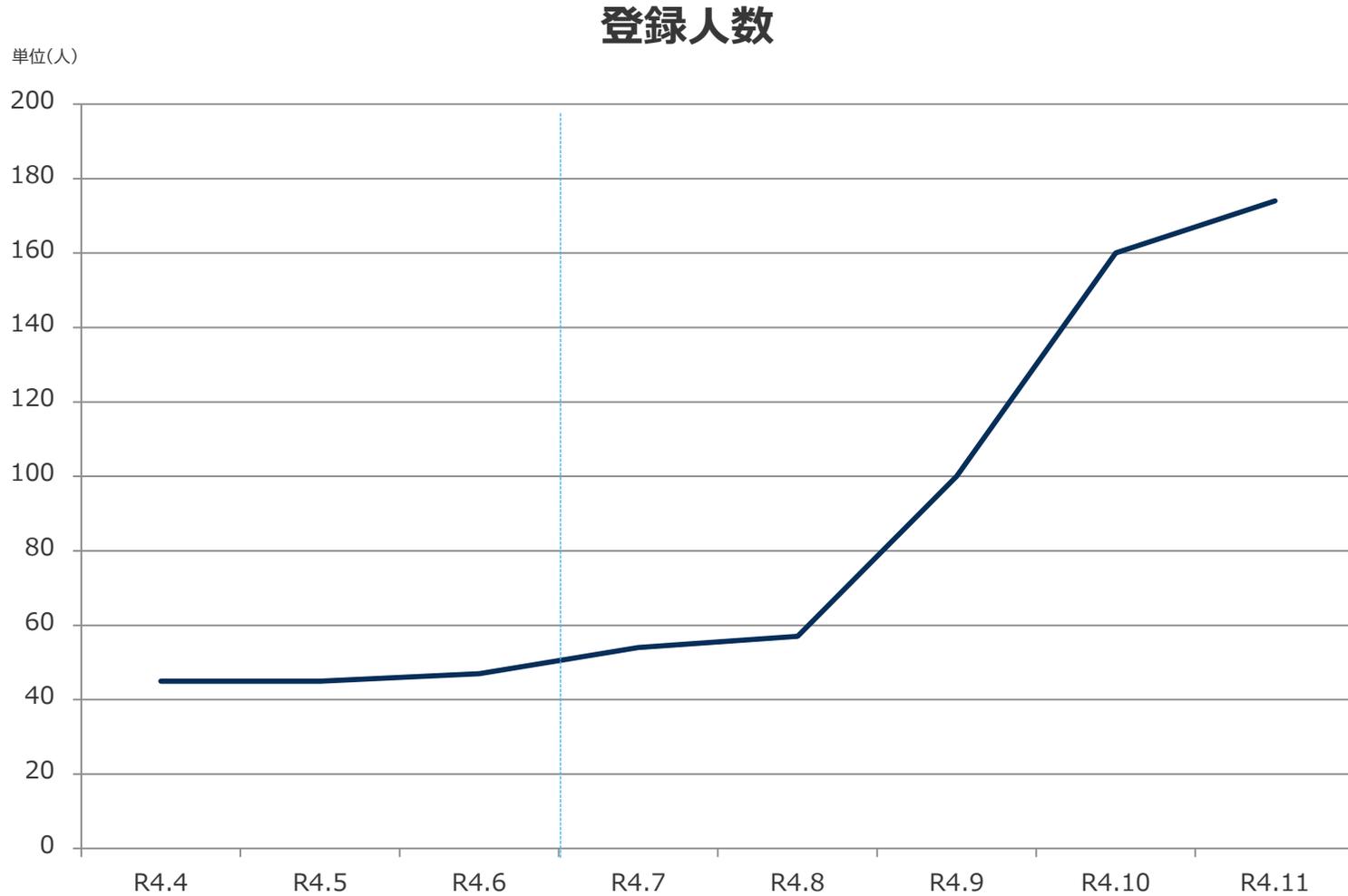
利用目的

通院, ワクチン接種, その他(買い物, 美容院, 郵便局, コンビニ, 娯楽, 他)

単位(人)



3. 令和4年4月から令和4年11月までの分析



4. 総括と所感

4 総括と所感

令和3年5月6日から鯖江市河和田地区を発着点とした鯖江市内で自家用有償旅客運送の運行開始をして、法令遵守の上、安全運行の徹底や利用者ニーズの吸い上げ等、多くの課題をひとつづつクリアしながら現在に至ります。

原点に立ち返り、ちよいボラ交通が担っている役割として「生活圏での移動手段となり、利用者の生活満足度を高め、社会的な課題を解決する」を体現するために、一番多くの要望があった利用料金について7月に改定しました。

さらに、「ちよいボラ交通」についての周知を進める為に、ポスターの設置や市民活動に出席して利用案内等、地道な周知活動を行ってきた結果、利用登録者は170名を超えております。

今後、コロナ禍も落ち着いてきて外出機会が増えてきた時に「ちよいボラ交通」の存在意義は高まると思いますし、移動利用の選択肢として利用機会は増えてくると思われます。

3期の実証実験の中で数値的に満足のいく結果は出ておりませんが、期待値と3年間信用を重ね信頼を得ながら進めてきた結果には、今後についての期待ができるのではないかと考えております。